

第9期北海道総合開発計画がスタート！

食料安全保障を支える

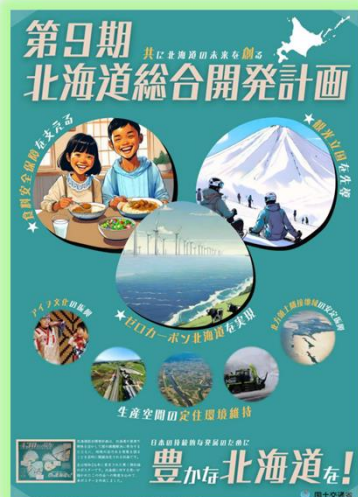
観光立国の先導

ゼロカーボン北海道を実現

北海道の価値を生み出す生産空間の定住環境を維持

～共に北海道の未来を創る～

北海道の価値を高めるとともに、地域が直面する様々な課題の解決を図るために、多様な主体が総力を結集し、分野を越えた連携・協働により、新しい価値を生み出す「共創」の取組を進めています。



2024年11月22日
ウポポイで
室蘭開発建設部は
キックオフシンポジウムを開催！！

計画を
詳しく
知りたい方は
こちら



わたしたち、室蘭開発建設部の事業の一部を紹介します



治水事業・海岸事業・道路事業・港湾整備事業
都市水環境整備事業・防災対策・農業農村整備事業
水産基盤整備事業など、多岐にわたって取り組んでいます。

わたしたち、室蘭開発建設部と地域との関わりの一例を紹介します

1月25日 冬の夜を彩る「シーニックナイト2025」



シーニックバイウエイ北海道 支笏洞爺ニセコルートをキャンドルの灯りでつなぎ、冬の夜を楽しむイベントです。
地域住民や観光客等、多くの方々の参加のもと実施し、たくさんの喜びや笑顔を共有してきました。

1月31日 北海道で初！『かわまち大賞』に平取町が選出

『かわまち大賞』は、
全国で進められている「かわまちづくり」の中から、
他の模範となる
先進的な取組を国土交通大臣が表彰するものです。



地域やアイヌ文化の振興・保全や、これら文化と結びついた
ヨシ原の再生・保全等のために河川空間を明確に位置づけた取組等が
評価されました。

令和6年度樽前山火山噴火総合防災訓練

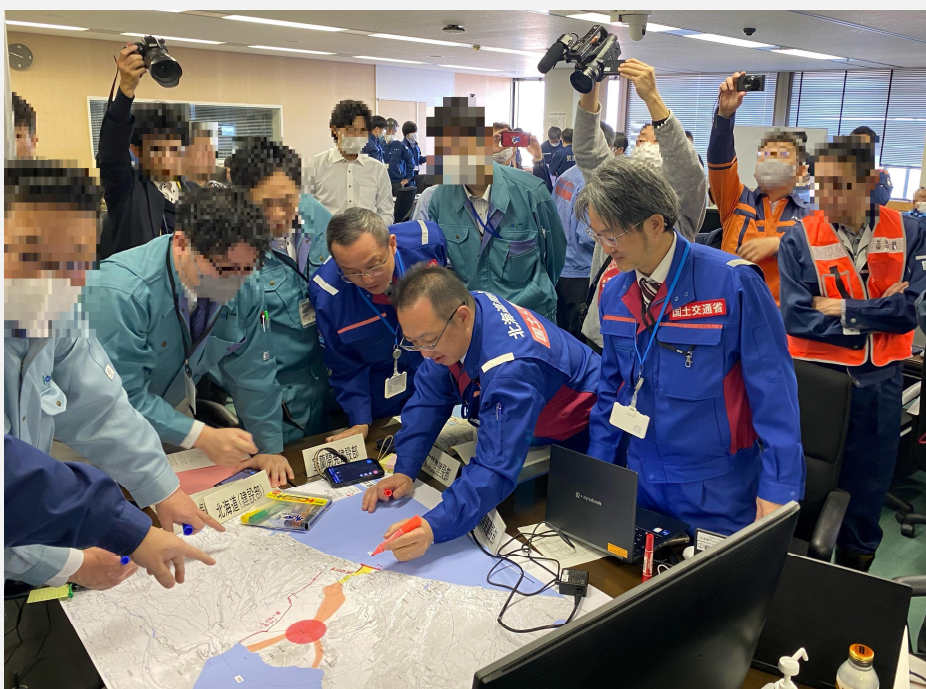
初の冬季開催 ～融雪型火山泥流を想定～

令和7年1月22日に樽前山での火山噴火を想定し、樽前山火山防災協議会連絡本部、現地災害対策合同本部の設置、運営訓練（図上）を実施し、噴火警戒レベルに応じた各本部における対応の基本的事項を理解するとともに樽前山火山防災協議会（代表幹事苫小牧市）及び樽前山火山減災行動ワーキンググループ（事務局室蘭開発建設部）に属する各防災関係機関の連携強化を図る目的で訓練が開催され、室蘭開発建設部からは道路・砂防事業防災担当者が参加し42機関約200人が参加しました。

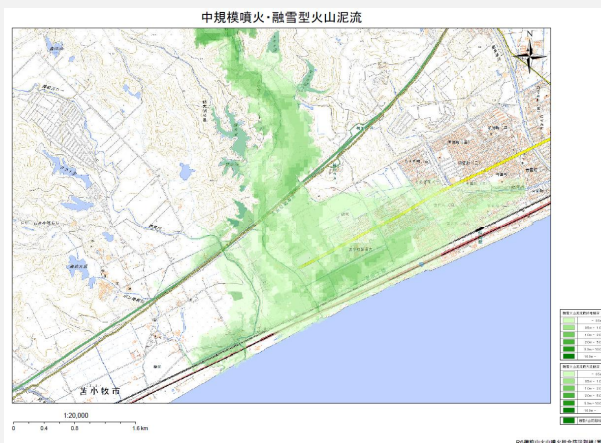
訓練会場状況（苫小牧市役所9階会議室）



訓練想定は『積雪期における火山噴火』のため、室蘭開発建設部から図上訓練の基図として『火山噴火に起因する土砂移動想定のリアルタイムハザードマップシステム』による『中規模噴火時の融雪型火山泥流氾濫範囲（訓練用に予め準備）』を提供し、この結果を基に住民避難行動の範囲・経路、各機関の対応状況等の報告がされ、道路管理者から国道36号の通行止め範囲を砂防事業担当者からは樽前山減災行動ワーキンググループで討議された、減災対策工とその効果の説明を行いました。



国道36号通行止め範囲図示状況



提供した氾濫範囲（シミュレーション）



樽前山火山防災協議会「連絡本部会議」訓練